

東京西徳洲会病院 広報誌 [くじら]

Vol.35
2023
August

KUJIRA

TAKE FREE

ご自由にお持ち下さい

副院長挨拶

東京西徳洲会病院

副院長 口腔センター長 佐野 次夫

栄養管理室だより No.8

写真：手術中の様子

副院長挨拶

— 24時間365日

口腔顎顔面疾患対応のため

口腔外科救急を実現させ、

口腔顎顔面疾患救急の最後の砦として

断らない救急の実践—



東京西徳洲会病院

副院長 口腔センター長 佐野 次夫

TSUGUO SANO

東京西徳洲会病院歯科口腔外科では口腔顎顔面疾患対応のため口腔外科独自の24時間365日当直体制をとり、救命救急センターの通常業務の中で、口腔外科独自の救急外来機能を強化し口腔顎顔面疾患救急の最後の砦として断らない医療を実践しています。そのため現在、多摩地区はもちろんのこと、都内23区、埼玉県南部、神奈川県北部、山梨県東部など幅広い地域からさまざまな顎口腔領域疾患患者が昼夜を問わず救急搬送ならびに来院されています。

診療は高度な診療機能に特化して外来、入院加療をおこなっています。具体的には高度な放射線治療機器や最新の免疫チェックポイント阻害剤を利用した口腔がん治療、最小限の侵襲でおこなう顎顔面外傷治療、全身症状のある顎部炎症、難度が高い口腔インプラント治療、さらには外科療法が必要な顎関節疾患、さらに顎変形症の外科療法など多岐に渡ります。その

中で最も重要視しているのは地域の歯科医院や医院との病診連携、病病連携を徹底させるため、虫歯や歯周病、義歯作成など地域歯科医院で対応できる疾患の治療は一切おこなっていないことです。

おかげさまで今日、圧倒的な数の紹介患者様を毎日受け入れることができるようになりました。さらに、たくさんの外来患者数、たくさんの手術件数、たくさんの入院患者の受け入れを行い、顎口腔疾患の多摩地区における名実ともに拠点となるべく、口腔外科指導医3名を含む14名の医員を配し、日々診療を行っております。

さらに当科の治療の基本は、基礎医学を徹底して重視し、全身を背景にした顎口腔疾患の治療を確実にこなうことを実践しています。患者様中心の医療行為を日々実践しさらなる地域医療に貢献できることを目指し、地域の先生方と協力して業務を遂行しております。



口腔外科集合写真

東京西徳洲会病院口腔外科はこの春、指導医2名を含む4名の歯科医師と2名の歯科研修医を迎えました。新たに入った先生方のご紹介はKUJIRA Vol.33の新任医師紹介をぜひご覧ください。

患者様中心の医療を日々実践し、地域医療にますます貢献すべく全員で精進してまいります。

これからも皆様の厚い支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

東京西徳洲会病院 副院長 口腔センター長 佐野 次夫



ORAL SURGERY

TOPIC コロナ後 初の親睦旅行を開催しました！

暑中お見舞い申し上げます。

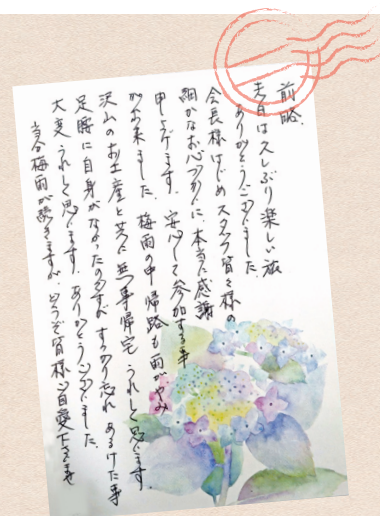
酷暑の候 会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より東京西徳洲会病院健康友の会の活動にご理解ご支援を賜り深く感謝申し上げます。また6月の親睦日帰り旅行には、大勢のご参加をいただきありがとうございました。

この度は、3月に東海大学医学部付属大磯病院より事業継承した、徳洲会湘南大磯病院へ立ち寄りしました。お忙しい中にも関わらず、多くの職員の皆様方に歓迎いただき、また、事務部長様による丁寧な院内の説明を伺い、短時間ではありましたが、有意義なひと時を過ごすことができました。

初めての日帰り親睦旅行でしたが、また、次回に続く様に願っております。なお、健康友の会では、会員増強に努めておりますので、是非、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

暑さ厳しい折柄、お体ご自愛くださいませ。

健康友の会 会長 大貫 昭子



親睦日帰り旅行に参加された方より、お礼のお手紙が届きました

栄養管理室だより



管理栄養士
鈴木 彩香

猛暑日を記録する日が続いています。
気温が28℃を超えると熱中症のリスクが高まります。
この夏は熱中症から体を守りましょう！



熱中症とは



高温多湿な環境に長時間いることで、体温調節機能がうまく働かなくなり体内に熱がこもった状態を熱中症と言います。また、屋外だけでなく室内で何もしていない状態でも発症する可能性があります。発症するとめまいや痙攣、嘔吐が起こり重症な場合には意識障害に陥ります。

熱中症予防のポイント

1. 水分をこまめに取りましょう

のどがかわいていなくても、こまめに水分をとりましょう。このとき、一度に大量の水を摂取すると体内の電解質のバランスを崩してしまいます。そのため、こまめに少しずつスポーツドリンクや経口補水液などの塩分と糖分を含む飲料を摂取するようにしましょう。これらの飲料は水と比較して水分の吸収が効率的であるため汗で失われた塩分の補給にもつながります。



2. 塩分を適度に取りましょう

過度に塩分をとる必要はありませんが、毎日の食事を通してほどよく塩分をとりましょう。大量の汗をかいたときは体内の水分とともに塩分やミネラルが失われていきます。そのため、食事から塩分補給を行うことが重要です。しかし、医師から水分や塩分の制限をされている場合は、よく相談の上その指示に従いましょう。



3. 健康な体をつくりましょう

日頃から主食・主菜・副菜の揃ったバランスのよい食事をとることは、熱中症の予防・対策につながります。特に、1日のエネルギーの大半を占める炭水化物（ごはん・めん類・パン）をしっかり取りましょう。また、炭水化物と合わせて摂取したいのがビタミンB1です。ビタミンB1は炭水化物中の糖質エネルギー産生を助ける働きがあります。ビタミンB1は、豚肉・鮭・イワシ・豆類・玄米などに多く含まれています。



Access Map

[最寄り駅からのご案内]

- JR 青梅線昭島駅〈徒歩15分〉
南口を出て右へ直進、JR八高線のガードを潜り、直進して右側
- JR 青梅線・JR 八高線・西武拝島線拝島駅〈徒歩10分〉南口を出て左へ直進
松原町4丁目交差点を左側へ道なり直進して左側



医療法人徳洲会

東京西徳洲会病院

TOKYO NISHI TOKUSHUKAI HOSPITAL
〒196-0003 東京都昭島市松原町3-1-1
TEL:042-500-4433(代表) 24時間対応



病院公式
ホームページ



看護部公式
Instagram

【お知らせ】看護補助者(看護助手)を募集しています！

- 正社員・パート(週4日～)・週1日アルバイト!
 - 未経験者も歓迎! ゆっくり丁寧に指導します!
- 看護部ホームページもご覧ください。ご質問などお気軽にお問い合わせください。

東京西徳洲会病院 総務課人事 ☎042-846-7112(9時～16時)

東京西くじら訪問看護ステーション併設 ☎042-847-3660